



会報



RIテーマ

クラブ 会長テーマ
『協調とおもいやり...そして分かちあいの心を』

2008-1-23 第 8 2 2 回例会 NO. 18-27 2008-1-30 発行

◎司会 SAA・親睦委員会 中谷 絃子

◎点鐘 会長 村上 久

◎ロータリーソング『我らの生業』
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介

「0 (ゼロ) からの風」上映実行委員会
委員長 寺沢 史様
大嶽 朱美様

◎会務報告 会長 村上 久

1. 昨日第 6 回会長・幹事・ガバナー補佐協議会があり、地区大会について、「効果的なクラブとなるための活動計画の指標」の半期チェック、地区役員会報告等々が行われました。その後の懇親会で IM の時の清水康子さんに感謝楯が贈呈されました。
2. お客様の紹介にありました「0からの風」がベルブ永山にて上映されることになりました。皆様ぜひご覧になって下さい。
3. 足立会員にお会いし、大変元気になられ、来週の例会には出られるようです。

◎幹事報告 幹事 海野 榮一

1. お手許に「0からの風」パンフレットが配布されております。後ほど寺沢様よりご説明が有ろうかと思えます。
2. 昨年行われましたテニススクールの記事がテニス雑誌「スマッシュ」に載ったとのことで、宮村会員がお持ち下さいましたので回覧します。
3. その他、多摩市社会福祉協議会「ふくしだより」が回覧されております。

◎「0 (ゼロ) からの風」上映実行委員会後援のお礼
委員長 寺沢 史様

「0からの風」上映に当たりまして、東京多摩グリーン RC さんから後援を頂きましたので、そのお礼で伺いました。

大学に入ったばかりのお子さんを、無免許の飲酒運転で即死させられた母親をモデルにしたストーリーです。加害者が業務上致死障害の最高刑 5 年の刑を受けているのですが、それではいかにも酷いということで、刑法の厳罰化に働き掛けて行くストーリーです。2月 23 日にベルブ永山にて 2 回の上映を致します。

【委員会報告】

◎出席報告 出席奨励委員会 菊池 敏

会員総数	34名
出席義務者数	33名(出席免除者1名)
出席者数	24名
欠席者数	9名(事前MU1名)
出席率	84.85%
補填MU	赤尾 恭雄 1/22 PSG協議会

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 阿部 華歌

村上 久 今日には雪になりましたネ。車で来られた方、スリッパに注意をしてください。

海野 榮一 吉沢先生、卓話楽しみです。

菊池 敏 今日のは雪は美しいが、雪がやんでから凍りますので、気をつけましょう。

吉沢 洋景 雪デス。寒いですね。本日は卓話です。宜しく。

伊澤ケイ子 今日のは雪のため、1時間以上かけてきました。(バス、電車)山奥には住みたくないな。

宮村 宏 吉沢さんの卓話を参考に頑張ります。

杉野志保子 吉沢先生、卓話楽しみです。

津守 弘範 吉沢先生、卓話宜しくお願ひします。

関岡 俊二 吉沢先生、卓話楽しみにしています。
小田 良生 吉沢先生、卓話楽しみ(?)にしております。
大松 誠二 江戸川柳をひとつ
『初雪や、二の字、二の字のゲタの跡』
小泉 博 ひまなんで・・・
大松さん、宜しく!!

本日の合計¥14,000 (累計¥748,999)

<その他委員会報告>

*プロアマゴルフのご案内

ゴルフ部部长 菊池 敏

プロ・アマゴルフの打合せ会があり、本年度は第23回、ホストは稲城RC、開催は6月9日(月)、会場は桜ヶ丘CC、各クラブ12名(3組)以上を要請されました。

◆会員総会(13:00~)

議長:会長 村上 久

司会進行:幹事 海野 榮一

【議案】東京多摩グリーンロータリー・クラブ細則改正について

細則による定足数成立を確認。出席会員の多数(2/3以上)の賛成をもって、本改正案を可決す。

◎卓話『インフルエンザ』について

吉沢 洋景



本日はプログラムにある題目を急遽変更し、「インフルエンザ」とさせていただきます。今期のインフルエンザ(以後 inf と略す)

予防接種に当たり、例年に比べ皆さんの質問が特別多かった事項に焦点を絞り、お話ししたいと思います。すなわち①何故予防接種は毎年必要なのか、②トリ inf にも効くのか、③inf の大流行にも対処できるのか、④タミフルはどうか、等です。

Inf は古くは紀元前より記述があります。二十世紀になりスペイン風邪、アジア、香港、ソ連と4回の大流行があり、これらは「パンデミック」と呼ばれます。

Inf の virus は RNA-virus で、内部蛋白の抗原性の違いにより A、B、C 型に分けられ、中に8分節の RNA 遺伝子を

持ちます。A型 virus は更に表面のタンパク質にヘマグルチニン(HA)とノイラミニダーゼ(NA)があり夫々、1-15、1-9があり、その組合せによる亜型に分類されます。感染を受ける動物を「宿主」と言います。A型の宿主はヒト、トリ、豚、馬、水生の哺乳動物などです。BとCはヒトだけが宿主です。予防接種が有効か否かは virus の抗原の変異に関係します。この抗原変異には連続変異と不連続変異があり、連続変異とは表面蛋白(HA, NA)のアミノ酸配列の点変異であり抗原性が徐々に変わります。この変異では亜型は変わらないが、毎年の流行の原因となります。不連続変異は遺伝子の再集合によるハイブリッド形成で、新しい亜型となります。この亜型に大部分の人は免疫を持たず、パンデミックを引き起こします。どうして新(亜)型の virus が出現するのでしょうか。普通トリ inf は人には感染せず、ヒト inf は鳥に感染しないのですが、豚はどちらの virus にも感染を受けるのです。たまたま2種類の virus に感染を受け、1つの細胞内で夫々の RNA の8つの分節が混ざり合い、色々な分節の組合せが出来る。これを遺伝子再集合と言ひ、ハイブリッド形成をして新型の亜型となる。新型の inf の誕生で、ヒトにも感染します。その他の可能性として豚による適応も指摘されています。これは豚の細胞内でヒトにも感染するように変異することです。従ってトリ inf は原則的にヒトには感染しないが、遺伝子再集合しハイブリッド形成した inf はその可能性は出来ることになる。すると大流行の可能性も出てくるのです。治療としては従来のアマンタジン、これはA型 inf の virus 膜にあるM2 蛋白を抑制して増殖をブロックするもので、M2 蛋白のないB型には効かない。次にリレンザ、タミフルの商品名で知られるもの、これはNAを阻害し増殖を抑制するものでA型他B型にもNAがあり、双方に効く。但し、ここ数年副作用の点で問題提起されているが、その異常行動は inf の自然経過の中にも存在し、因果関係はまだ結論付けられず安全性の統一見解はない。しかし兎に角良く効く。最後にHAワクチンであるが、毎年WHOにて翌シーズンの推奨株が決定され成熟卵でHA, NA 分画を回収して作る。これは推奨株が外れない限りは効果があるが、前述の理由でパンデミックにもトリ inf にも効果は無いはずであります。こうなると頼りは、やはりリレンザ、タミフルでしょうか。

メタボリックシンドローム(MetS)は次の機会に。

◎点鐘

会長 村上 久

(今週の担当 吉沢 洋景)